

4. 4 川と人とのかわり

【内水面漁業とかかわりのある鳥（カワウ）の確認状況】

(鳥類調査)

- ・ **カワウを全国のほとんどの河川で確認**

魚を餌とし、河畔林などに営巣地を持つカワウの確認状況を整理しました。

カワウは、今回とりまとめを行った一級河川 21 河川のうち、北海道の常呂川を除く 20 河川で確認されました。

(資料掲載： 4-30、 4-32～33 ページ)

カワウは、内湾部や内陸の淡水、河川、湖沼などに生息し、その近くの林などで集団繁殖します。一年を通して群れで生活し、水かきのついた足を使い、尾を舵にして巧みに潜水し、魚類や甲殻類を捕らえます。一時は個体数の減少が心配されたこともありますが、近年増加し、一部の地域では放流されたアユ、アマゴ、ニジマス等に食害し、内水面漁業に被害を与えている例も知られています。

カワウは、今回とりまとめを行った一級河川 21 河川のうち、北海道の常呂川を除く 20 河川で確認されました。確認範囲を見ると、ほとんどの河川で河口から上流まで広範囲で確認されていました。

カワウの年間確認個体数は、利根川水系の河川で特に多く、利根川や神流川では 800 個体近く確認される場合もありました。

2 巡目、3 巡目も調査を行った 19 河川での確認状況を比較すると、北海道地方の沙流川、東北地方の子吉川では、河川水辺の国勢調査としてはじめて確認されました。

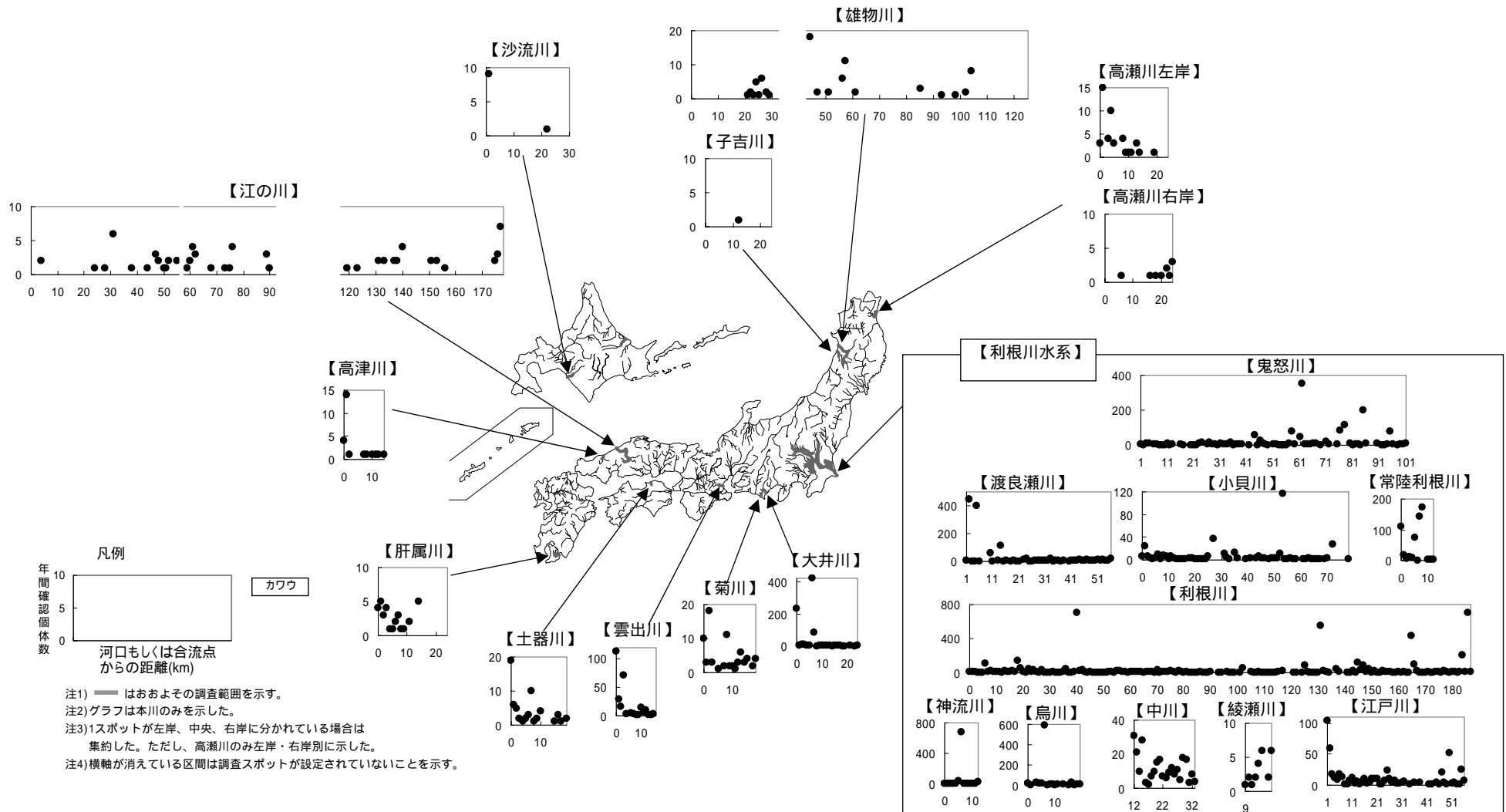
確認河川数の比較 (対象河川： 19 河川)

種類	2 巡目 調査	3 巡目 調査	今回 調査
カワウ	16 河川	16 河川	18 河川

注 1) 集団分布地、移動時の確認を含む。

注 2) 1 巡目は実施河川が少ないため対象から外した。

注 3) 2 巡目、3 巡目も調査を行った河川で比較しているため、対象河川数は今回実施河川数よりも少ない。



カワウの1kmピッチの確認個体数（平成19年度調査結果 鳥類）